

学校だより 鼻高の風

文責：校長 北森 章久

12月のめあて『時間いっぱい無言で清掃しよう』

師走を迎え、2学期も残すところあとわずかとなりました。学校では、主だった行事もほぼ終了し、まとめの時期に入りました。児童一人ひとりの生活面・学習面等に目を向け、良い点は認めつつ不十分なところは改善ができるように支援していきたいと思えます。また、2回目の学校評価アンケートでは大変お世話になりました。

校内持久走記録会

11月29日（木）の3・4時間目に校内持久走記録会が行われました。天候にも恵まれ穏やかな中で、子どもたちが精一杯頑張る姿がたくさん見られました。何よりも印象に残ったのは走っている友だちへの応援です。早い遅いに関係なく最後の1人がゴールするまで大きな声が出ていました。



お手伝いいただいた剣崎駐在所長様、交通指導員様、PTA本部役員の皆様、環境安全委員の皆様には児童の安全確保や誘導で大変お世話になりました。また、お忙しい中ご声援いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。

新記録達成おめでとう！鎌田乙寧さん、真綾さん



6年女子の鎌田乙寧さん、真綾さんが昨年度に引き続き、新記録を出しました。今までの校内記録は平成24年度に安達美鈴さんが出した7分33秒でしたが、乙寧さんが6分57秒、真綾さんが7分22秒とそれぞれ36秒、11秒短縮したことになります。

授業参観・学級懇談お世話になりました

12月4日（火）に、授業参観・懇談会が行われました。多くの方に来ていただき大変お世話になりました。授業参観では各学年、各学級ともに、落ち着いて学習に取り組む様子が見られたと思えます。子どもたちが一生懸命学習しており、2学期の成長があったと考えます。ご家庭でも学校の様子を話題にいただければと思えます。



懇談会では、学習や運動の様子、通知表や冬休みの過ごし方等について話がされました。早いもので後わずかで冬休みに入りますが、2学期の学習のまとめをしっかりとできると良いですね。



また、2年生は「とらうべの会」の助産師さんを招いて『命の授業』、5年生は「展望花の丘」の戸塚さんを招いて『しめ縄作り』が行われました。各学年PTAの皆様お世話になりました、ありがとうございました。

～家庭学習の習慣を～

小学校6年生・中学校3年生を対象にした全国学力・学習状況調査の過去の結果から、学力と学習・生活環境は大いに関連性があり、「学力は家庭学習で向上する」ということがわかってきました。小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で児童の学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えます。

家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。

① 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。



② 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになるのです。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどしどし脳を鍛えましょう。

③ 学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④ がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要なのは言うまでもありません。

⑤ 家族のふれあい

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてやる」など家庭学習をしている子どもに親が関わることによりコミュニケーションがはかれます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。